

総合内科・総合診療科【Stage2】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

総合内科・総合診療科では、さまざまな症状で受診する外来患者に対し、病歴聴取・身体診察を行い、臨床推論、検査・治療法の提案、診療録記載、カンファレンスでのプレゼンテーションまで、外来診察の一連の流れを実習します。また、大学病院の総合診療科だけではなく、学外施設の総合診療科での診療参加型実習を通して、これからの高齢化社会においてニーズの高い総合診療について学びます。

【一般目標】

5年次生までに学んだ「医学知識・技能」をさらに向上させ、多様な健康問題や背景をもつ患者に対して診療チームの一員として診療方針の決定に寄与する。

【到達目標】

- ① 自然な流れに沿って病歴聴取ができる。
- ② 患者の解釈モデルを重要視する。
- ③ 病歴や鑑別診断に沿った適切な身体診察ができる。
- ④ 鑑別診断を挙げ、診断に必要な検査の方針を提案できる。
- ⑤ 受け持った患者について状況に応じたプレゼンテーションを行うことができる。
- ⑥ POMR形式で診療録を記載できる。
- ⑦ 指導医・医療従事者のサポートの下、主体的に診療方針の決定に関与する。
- ⑧ 実習で同席した下級生に対して適切な指導・アドバイスができる。
- ⑨ 大学病院と学外研修施設における総合診療医の役割の違いを説明できる。
- ⑩ 自ら主体的に学習目標を考える。

2. 実習の方法（行動・行動指針）

当科の実習は、学内・学外合わせて合計4週間とする。

学内：大学病院 総合内科・総合診療科での実習

- ① プリセプティング・システムに則った外来実習を行う。
- ② 病歴聴取⇒身体診察⇒検査計画の立案の流れを主体的に経験する。
- ③ 大学病院ならではの臓器横断症例や診断困難症例の臨床推論を行う。
- ④ 自らの学びを5年生に共有・指導する。

学外：大分県内外の関連病院での実習（次ページの施設に限る）

- ① 地域の診療所や病院でのプライマリ・ケア実習を行う。
- ② Common Diseaseの基本的な対応方針を検討する。
- ③ 内科的疾患の救急医療実習を行う。
- ④ 地域に密着したプライマリ・ケアの実践を経験する。
- ⑤ 施設間連携・地域包括ケアシステムにおける各施設の役割を学ぶ。

★ 学外実習は1週間ずつ、複数の医療機関も選択可能である。学外実習は、事前説明会において決定するため、必ず参加すること。日時は後日メールにて連絡する。

★ 病院見学ではなく、あくまでも参加型の病院・診療所実習である。

学外施設	場所	担当科	責任者
別府医療センター	別府市	総合診療科	久保 徳彦
大分市医師会立アルメイダ病院	大分市	総合診療科	石井 稔浩
大分健生病院	大分市	総合診療科	酒井 誠
やまおか在宅クリニック	大分市		山岡 憲夫
渡辺内科医院	杵築市		大野 繁樹
宮崎医院	由布市庄内町		宮崎 美樹
よつばファミリークリニック	大分市		藤谷 直明
ヒカリノ診療所	大分市		平山 匡史
姫島診療所	国東市	※ 応相談	三浦 源太
奈義ファミリークリニック	岡山県奈義町	※ 応相談	松下 明
飯塚病院 総合診療科	福岡県飯塚市	※ 応相談	井村 洋

3. 実習上の注意事項

- (a) 時間厳守
- (b) Student Doctorとしての責任を自覚し、礼儀を守り行動すること。
- (c) 感染予防に努め、決められたルールに従った行動をすること。
- (d) 患者さんに対して誠実な態度で接すること。
- (e) 患者さんやその家族から「病状や治療方針、予後」などを訊かれても答えないこと。
- (f) 個人情報に対する守秘義務を守ること。

4. 実習スケジュール (学内実習)

注意事項)

実習初日 (月曜日) は学内・学外を問わず、**研究棟8F総合診療・総合内科学講座医局**に集合すること。

時間/曜日	月	火	水	木	金
8:40~9:00	(8:40 集合) 集合カンファレンス *学内実習者 全員参加* (病棟4階 総合内科・総合診療科カンファレンス室)				
9:00~10:00	外来			初診外来 スキルスラボなど	
10:00~11:00					
11:00~12:00					
12:00~13:00	休 憩				
13:00~14:00	外来・自学自習・5年生へのレクチャー			13:00~ 5年生発表の評価	
14:00~15:00					
15:00~16:00				最終日 実習総括 *学内・外 全員参加*	
16:00~17:00					

※第4週の最後に行う実習総括は、学内・学外に関わらず、全員出席すること